



## はくろ（白鷺）の散歩VI

令和6年10月4日  
～校長室の窓から～ 令和6年度 No.11  
神奈川県立平塚中等教育学校  
校長 松本 靖史

### 【吹奏楽部1年生 はじめてコンサート】

令和6年9月23日（月・祝）の10時から12時にかけて、本校多目的ホールで吹奏楽部の「はじめてコンサート」が開かれました。これは、1年生初めての観客を前にした演奏の機会です。

コンサートは、1部は1年生の独奏、2部は1年生だけの合奏とシニアバンドのメンバーを交えての合奏で構成されています。22名の1年生が観客の前で演奏しましたが、どの生徒も一生懸命演奏していましたが、音楽監督兼常任指揮者の高田亮先生と常任指揮者の山内信英先生が聴いており、1年生たちは、さぞかし緊張したと思います。また、2部のシニアバンドのメンバーを交えての合奏は、



良いお手本が近くにいることの利点を実感しました。演奏終了後、山内先生からフルートの生徒1名に「山内賞」、高田先生からクラリネットの生徒1名に「高田賞」が贈られました。さらに高田先生のマリンバ独奏もあり、雰囲気の良いコンサートになりました。

### 【いろいろな実習を受け入れています】

6月にも教育実習生を受け入れましたが、今年度は、8月26日から9月13日までの養護教諭の教育実習生、9月24日から10月20日まで保健体育の教育実習生を受け入れました。

また、9月25日から9月27日まで平塚地区教育体験として、東海大学体育学部の学生さん、9月26日から来年の1月まで、神奈川県教育委員会が実施している「スクールライフサポーター（大学生等ボランティア）」として、国語の教員免許取得を目指して勉強中の学生さんを受け入れています。どの学生さんも、真面目に実習に取り

組んでおり、優秀な教員のたまごの育成に、本校も一役買っています。

### 【公開研究授業・よりよい授業に向けて】

令和6年10月4日（金）の5、6校時、2年生、4年生の授業を対象に公開研究授業を行いました。当日は塾・予備校の方をはじめ、多くの教育関係者が見学するなか、熱のこもった授業が各教室や体育館等で展開されました。

この企画は、開校当初から本校の授業研究を支える大切な一本の柱として、実施されてきたものです。コロナ期に一度は中断した経緯もありますが、今年は再開して3年目の開催となり、特に昨年からは、中等教育学校の特色である6年間の各段階での学習内容の調整・再構築を目標に、本企画を展開しています。各授業における学習目標達成のための工夫ももちろんですが、生徒への定着度を複数の視点で測り、授業展開・手立ての妥当性を検証していくという大きな目標を掲げています。

実際行われた5、6校時の授業は、話し合いや学び合いなど、生徒の活動を重視したものが多く、授業者以外の教員は生徒の定着度がどの程度達成されているかや、目標設定・授業展開などをどう改善したらよいかなどといった視点で細やかに観察を行いました。

7校時は、それらを持ち寄って研究協議を行いました。教科ごとに用意された大きな模造紙とポストイットを



用いて、本校の発達段階を踏まえた、学習目標とその手立てとしての学習内容の再調整が行われ、各教科担当に共有されていました。こういった職員ひとり一人の地道な努力が結実する日を楽しみにしています。（澤村副校長）